

令和7年度の重点課題

〇情意面

- ・男子：運動やスポーツをすることがやや嫌いと答える児童の割合が4.76%である。（前年比4.76%↑）
- ・女子：運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が61.90%である。（前年比7.33%↓）
- ・好きと答える女子の割合は、男子よりも28.58%低い。

〇体力面

- ・男子：「握力」、「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- ・女子：「握力」、「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- ・共通
男女共通して、「握力」、「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

〇体育の授業で行った取組

- ・単元に応じて、鉄棒や肋木にぶら下がる運動を取り入れることで、握力の向上をはかる。
- ・指示や説明の時間を減らし、運動量の確保につなげる。
- ・体育が好きなように、「できる」を実感させられるような授業展開、場の工夫をする。
- ・準備運動の中に、ACP（アクティブチャイルドプログラム）を取り入れ、全力疾走の機会を確保する。（ねことねずみ、追って追われて など）

〇体育の授業以外で行う取組

- ・休憩時間の外遊びの奨励（ただし、熱中症対策のため、夏の暑い時期には、休憩時間の外遊びの制限や水分補給を十分させるようにする。）
- ・ロング休憩を定期的に行い、30分間外で遊ぶことができるようにする。
- ・冬季休業中に、縄跳びカードに取り組み、体力全般を向上させることができるようにする。
- ・体育朝会で四季っ子体操を行い、基礎体力の向上をはかる。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値（令和7年度）・全国平均値（令和7年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.42	21.12	38.54	43.27	55.04	9.49	165.58	23.42	56.35

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	12.65	18.47	37.29	41.53	35.82	10.47	144.20	9.71	51.73

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値（令和8年度）・全国平均値（令和7年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.42	21.12	38.54	43.27	55.04	9.49	165.58	23.42	56.35

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	12.65	18.47	37.29	41.53	35.82	10.47	144.20	9.71	51.73

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	84.00	12.00	4.00	0.00	第5学年	26.67	60.00	6.67	6.67

重点課題

情意面での課題

- 〇男子
・運動やスポーツが好きと答える児童の割合が83.33%
（前年比7.15%↓）
- 〇女子
・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が26.67%
（前年比35.23%↓）
- ・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が6.67%

体力面での課題

- 〇男子
・「握力」、「50m走」において、県平均値（令和7年度）かつ全国平均値（令和7年度）より低い。
- 〇女子
・「握力」、「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「ボール投げ」において、
県平均値（令和7年度）かつ全国平均値（令和7年度）より低い。
- 〇共通
・男女共通して、「握力」、「50m走」において、県平均値（令和7年度）かつ全国平均値（令和7年度）より低い。

令和9年度の
重点目標値

- 〇「握力」、「50m走」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 〇「運動やスポーツをすることが好きですか」という質問について、「嫌い」と答える児童の割合を0%にして、肯定的に回答する児童の割合を男女ともに、90%以上を目指す。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・単元に応じて、鉄棒や肋木にぶら下がる運動を取り入れることで、握力の向上をはかる。
- ・指示や説明の時間を減らし、運動量の確保につなげる。
- ・「5分完走」を行い、基礎体力の向上をはかる。
- ・体育が好きなように、「できる」を実感させられるような授業展開、場の工夫をする。
- ・準備運動の中に、ACP（アクティブチャイルドプログラム）を取り入れ、全力疾走の機会を確保する。（ねことねずみ、追って追われて など）

体育の授業以外で行う取組内容

- ・休憩時間の外遊びの奨励（ただし、熱中症対策のため、夏の暑い時期には、休憩時間の外遊びの制限や水分補給を十分させるようにする。）
- ・冬季休業中に、縄跳びカードに取り組み、体力全般を向上させることができるようにする。
- ・体育朝会で四季っ子体操を行い、基礎体力の向上をはかる。
- ・アスリートを招き、出前授業を実施する。